

2013年度第3回理事会(定例)開催



ゲーリー・サトウ新監督率いる日本が、ホームゲームで初勝利！（6月15日）

2013年度第3回理事会(定例)について

2013年6月11日(火)にJVA事務局で開催された2013年度第3回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●第3期(2013年3月期)決算について

第3期(2013年3月期)決算について以下の説明がなされ、これを承認可決しました。

当期の収入は、事業収入が1,466,512千円、その内容は協賛金収入590,145千円、入場料収入298,717千円、業務受託料228,692千円などが主なものである。これらに補助金等159,647千円、寄付金103,660千円等を加えると、当期収入合計は1,947,735千円となる。

支出では、事業費が1,886,067千円、管理費が101,608千円になり、当期支出合計は1,987,675千円となる。この結果、税引前当期一般正味財産減少額は39,940千円となり、これに法人税等70千円を計上した当期一般正味財産減少額は40,010千円となった。

[*第3期(2013年3月期)決算の詳細は、日本バレーボール協会ホームページに掲載いたしますのでご参照願います。]

<監査報告>

監事より下記のように監査報告が行われました。

公益財団法人日本バレーボール協会の第3期(2012年4月1日～2013年3月31日)の下記の計算書類について監査したところ、適正かつ公正に処理されており、その内容が事実であることを認める。

- (1)貸借対照表及び正味財産増減計算書、並びにこれらの附属明細書
- (2)財産目録

また、理事の業務執行状況等について監査したところ、定款第31条の職務を遂行していることを認める。

●第3期(2013年3月期)事業報告について

第3期事業報告について以下の説明がなされ、これを承認可決しました。

<事業の概況>

本会は2011年2月に公益財団法人に移行し、第1期が2月～3月の2ヵ月間、第2期が2011年4月～2012年3月、第3期が2012年4月～2013年3月となる。

当期はオリンピックイヤーであり、男女6人制、男女ビーチバレーボールのロンドンオリンピック出場が最重要課題であった。オリンピック最終予選が5月～6月に開催され、女子6人制と男子ビーチバレーが見事出場権を獲得し、7月8日には多くのファンと共に壮行会を盛大に開催した。ロンドンオリンピックでは、女子6人制が28年ぶりに銅メダルを獲得し日本国中に感動を与えることができた。これを祝って9月28日には銅メダル祝勝会を開催した。

オリンピック終了後、2016年のリオデジャネイロオリンピックに向けて、強化体制の再構築を図ることとなった。女子は眞鍋監督が次の4年間も続投する事が9月28日の理事会で承認されたが、男子監督が公募により選出する事となり、監督候補者選考委員会にて鋭意審査の結果、アメリカ人ゲーリー・サトウ氏を監督に迎える事となった。

又、強化事業本部の組織改正に合わせ、強化担当GMを設置、一貫指導委員会、男女強化委員会、男子テクニカル委員会を廃止し、新たに選手発掘から育成までの一貫した体制を構築するため、男女育成強化委員会並びに男女育成強化ディレクターを設置する事とした。

前期に会長がアジアバレーボール連盟副会長に任命されたのに続き、9月末の国際バレーボール連盟総会にて、各委員会メンバーに本会関係者より12人が選出された。

大阪市立高校の男子生徒が部活動中の指導者による体罰を苦に、自らの命を断った事件に端を発し、全国のチームの実態調査を開始したところ、各地で暴力や体罰の実態が判明したため、本会としても会長名で体罰根絶に向けて指導の徹底を指示すると共に、相談窓口を設置し対応することとした。

当期決算については、壮行会、スタッフ派遣費用、祝勝会、オリンピック出場、メダル獲得の報奨金等のオリンピック関連費用の増加及び、入場料収入も大幅に減少したため、約40百万円の赤字となった。

[*第3期(2013年3月期)事業報告の詳細は、日本バレーボール協会ホームページに掲載いたしますのでご参照願います。]

●定時評議員会に提案する定款第29条の修正と追加について

定時評議員会に提案する定款第29条の修正と追加について以下の説明がなされ、これを承認可決しました。

現行の定款では代表理事(会長)のもとに若干名の業務執行理事を設けているが、代表理事(会長)不在の際に代行すべき適当な役職が無い。よって、機動的な体制づくりのために、3名以内の副会長を置くよう定款を変更することを定時評議員会に提案いたしたい。

●AVC 東京事務所の開設について

AVC 東京事務所が以下の概要で開設することになり、本会としてもどのような形で AVC の活動に貢献できるかを検討の上、積極的に支援する方針を諮り、これを承認可決しました。

【AVC 東京事務所概要】

<目的>

AVC の development and marketing 部門の事務所を東京に開設することにより、バレーボール競技の関係諸国への支援並びに国際的な普及振興に寄与する。

<概要>

- 事務所開設期間 2013年6月以降～(当初3カ月間は試行期間)
- 事務所開設場所 東京都内で調整中
- 担当者
 - ①AVC development 担当(支援活動)
 - ②AVC marketing 担当(AVC 全体のマーケティング活動)
 - ③アシスタント担当(両者担当の事務職員)
- 経費 全額 AVC が負担
- 業務内容
 - ①AVC に加盟するカテゴリー I、II の約49カ国(地域)への支援活動
 - ②AVC マーケティングの開発促進

<報告事項>

●功労者Ⅱ表彰について

第4期(2013年度)第2回功労者Ⅱ表彰として下記の方の表彰を行うことが決定したとの報告がありました。

○第4期(2013年度)第2回功労者Ⅱ表彰者

紺屋正雄(北海道バレーボール協会副会長)

山口武平(元・茨城県バレーボール協会会長)

●2013年度第1四半期職務執行報告について

議長より、法令及び理事会運営規程に基づき、代表理事及び業務執行理事から第4四半期の職務執行報告を行うとの説明があり、中野代表理事及び業務執行理事から職務執行報告が資料に基づき行われました。主な報告内容は以下のとおりです。

中野代表理事

- ①理事会・業務執行理事会・加盟団体代表委員総会の開催
- ②役員候補者推薦委員会の開催
- ③体罰問題関連会議の開催
- ④FIVB 理事会、AVC 理事会、AVC オセアニア会議への出席

岩満業務執行理事 事務局長 業務推進事業本部本部長

- ①人事・労務関連業務
- ②バレーボール用器具認定に関する業務
- ③広報活動に関する業務

下山業務執行理事 国内事業本部本部長

- ①会議出席
(若年層競技人口拡大プロジェクト、暴力撲滅に関する会議、国内事業本部会議、ビーチバレーボール、黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会、国内・国際・一般社団法人日本バレーボールリーグ機構スケジュール調整会議、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構理事会、天皇杯・皇后杯全日本選手権大会実行委員会、全国ママさんバレーボール会議)
- ②大会等視察
(2012/13 V・プレミアリーグ、チャレンジリーグ
2013 日韓 V LEAGUE TOP MATCH、黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会)

森田業務執行理事 強化事業本部本部長

- ①全日本シニア男女チーム記者会見等
- ②チームスタッフ等契約
- ③Vリーグとの日程調整会議
- ④JOC 理事会・各種会議出席

豊原業務執行理事 M&M 事業本部本部長

- ①バレーボール情報番組の企画調整業務
- ②協賛社へのプロモート業務
- ③広告・出版物関連業務

羽牟業務執行理事 国際事業本部本部長

- ①世界選手権に関する調整業務
- ②FIVB 実行委員会、理事会、AVC 東京事務所に関する会議出席
- ③次期役員候補者推薦委員会
- ④オリンピック・パラリンピック招致に関する会議

小島業務執行理事 国際事業本部副本部長

- ①世界選手権に関する調整業務
- ②FIVB 実行委員会、理事会、AVC 理事会陪席、AVC マネージメント会議出席、AVC 東京事務所に関する会議出席
- ③ビーチバレーボール代表チーム強化プロジェクト作業

橋口業務執行理事 業務推進事業本部

- ①暴力根絶に向けた活動
- ②広報委員長としての広報業務
- ③環境委員長としての環境活動
- ④総務・人事 関係業務

●全日本シニア男女チームの戦績について

今年度の全日本シニア男女チームの戦績について報告がありました。

以 上

発 行・公益財団法人日本バレーボール協会
電 話・03-5786-2100 FAX・03-5786-2109

発行人・代表理事・事務局長 羽牟 裕一郎
E-mail・generalaffairs@jva.or.jp